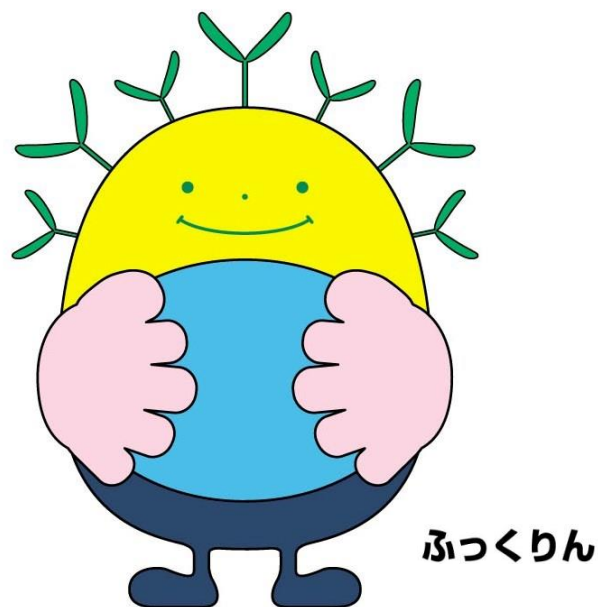


令和3年度 ふくいの木の利用の促進に関する施策の実施状況

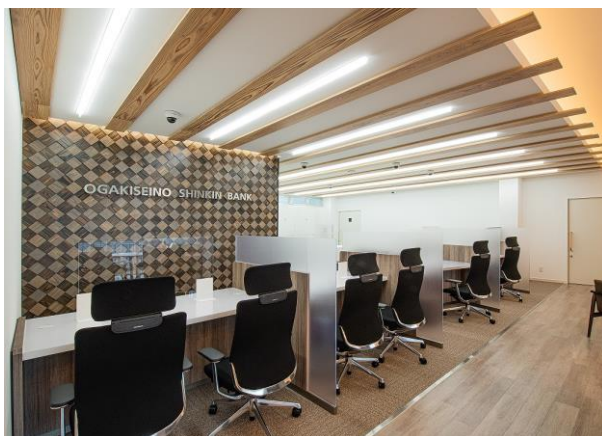


1 県産材の利用推進

- 県と福井県経済団体連合会との間で「ふくい県産材利用推進に関する協定」を締結(10月)
- 中大規模木造建築物の設計者を育成する「ホルツアーキテクト育成講座」を開催(8月～11月)
(中大規模建築物での県産材利用を推進)
- 保育園(東京都)や信用金庫(岐阜県)などの県外施設に県産材を利用
- 県内のショッピングセンターにおいて「福井の木ができること」をテーマに県産材製品の展示会を開催し、県産材の魅力をPR(3月26日、27日)



県と経団連との協定の締結



大垣西濃信用金庫(岐阜県)
<設計・写真:株式会社福永建築事務所>



県産材製品の展示会
(アピタ福井大和田店)

2 新たな分野での利用開拓

- 木の温かみとステンレスの機能性を融合させたオフィスキッチンなど新たな県産材商品(3商品)を開発
- 東京で開催された大規模建材展「ジャパンホームショー」への出展(11月)や台湾企業とのオンライン商談会の開催(3月)により販路を開拓



県産材商品の開発
(オフィスキッチン)



ジャパンホームショー
(東京都)



台湾企業とのオンライン商談会
(福井市内)

3 合板、木質バイオマスでの利用拡大

- 合板工場や木質バイオマス発電施設に対し、県産材を安定的に供給
- 森林整備を促進し、県産材の生産拡大を図るため、森林組合や民間林業事業体で構成する「ふくい県産材生産拡大協議会」で研修会を開催
- 温泉施設ボイラーを増設し、森林資源をエネルギーとして、同一地域内で利用する取組みを推進



福井県産スギ合板
(合板工場：県外)



ふくい県産材生産拡大協議会研修会
(あわら市)



温泉施設ボイラー
(あわら市)